

就任の挨拶

平成29年度会瀬学区内関係者異動、役員など変更がありましたのでご紹介いたします。

【敬称略】



日上市立会瀬小学校
教頭 助川 浩美

片道3キロ。道草をしながら小学校への道を歩きました。途中、水を飲ませてくれる家や近道になるからと庭を通してくれる家、笑顔で話を聞いてくれる人たちがいました。懐かしくも温かい思い出です。

4月に会瀬小学校に赴任し、たくさんの方々にお会いしました。初めての日立での勤務に不安もありましたが、その頃の懐かしさや温かさを感じています。学校という立場から、会瀬で育つ子どもたちと保護者、地域の方々をつなぐ役目をしていきたいと考えております。



日上市立おおせ保育園
園長 小林 淳子

おおせ保育園には、3回目の赴任で、何かとご縁があるようです。

今年度は、87名の元気な子どもたちと一緒にスタートしました。毎日、笑顔いっぱい・元気いっぴいの子どもたちに、パワーをもらっています。こどもたちが、楽しく充実した日々が過ごせるよう、職員一同で見守っていききたいと思っております。地域の皆様には、今後とも、保育園に対します暖かいご支援をよろしくお願いいたします。



市報管理部
部長 横田 美和

この度、市報管理部部長を務めさせていただくことになりました。市報管理事務手続き等を円滑に行い地域の皆様に市報をお届けできるように努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

北見徳治さんより寄付

昨年相賀町在住北見徳治さんより多額の寄付をいただきました。

使途については、美術関係に造詣の深い今橋孝行相談役に意見を伺ったところ、北見さん自身絵を描いては、幾つかの美術展に入選している腕前なので、本人の絵を飾るのがよいと言う事になり額とネームプレートを取り付けて飾ることになりました。

おおせの磯に波が当たって立ち上がる様を描いた、力強い絵です。「海は一瞬たりとも同じ表情ではない、そこがまた面白い」とは北見さんの言葉。

交流センターロビーに飾っております。来館の際はぜひ鑑賞ください。

そのほかに会瀬浜太鼓子供半纏を購入しました。半纏は、3月26日日上市池の川さくらアリーナで日上市・山形県山辺町友好都市提携記念試合前に交流として会瀬浜太鼓披露に着用しました。北見さんと息子さんには4月22日に交流センターで絵や浜太鼓DVDをみていただきながらなつかし昔話に花を咲かせたひと時でした。



平成17年頃の初崎の海
北見 徳治
昭和4年生れ
常置工業専門学校卒業
小中学校教師
大塚第一小生に絵画を学ぶ



ふるさと会瀬から 関盛夫さんを偲ぶ

会瀬回顧と題して数年前の「プチトマト」で紹介し、「新編ふるさと会瀬」にも掲載した関盛夫さんが4月29日106歳で他界しました。追悼の意として「新編ふるさと会瀬」掲載文を紹介いたします。

会瀬二丁目の関盛夫さんが、勤めていた日立製作所日立事業所が発行する文芸誌「ばんぼん」(二九五・二九六号)に生い立ちや勤務についての思い出を語った文章が掲載された。地域に関するものを抜粋して紹介する。

明治四四年四月九日生まれ、自宅は会瀬二丁目の洞門(常磐線下の通路を会瀬では昔から洞門と呼んでいた)の西側で、天気が良ければ漁にでたり畑仕事をする半農半漁の家で育った。助川尋常高等小学校から国分小学校高等科(現在の成沢小学校)を経て、一五歳で日立製作所山手工場にあった徒弟養成所(日立工業専修学校)に入学した。当時、学校を出た子どもは大工や左官の弟子や見習工として勤めたりしたが、入学が難しかった徒弟養成所に合格したので親は大変喜んだ。

学校は会社の構内にあり、七時始業で二時間授業を受け、九時から工場の現場で実習し4時終業で寮へ戻った。昭和四年卒業し、山手工場へ配属され自宅から通勤した。七時始業なので六時過ぎ家を出、徒歩で寺の坂を上がり日製正門前から山電車が出る助川駅まで行き芝内まで乗って行く毎日なので、冬季は暗い朝道であった。収入は平均月収二七円から三十円くらいだった。(当時見習工で月給5円程度、国立大卒の初任月給八十円)

昭和初期は不景気時代だったこともあり会瀬では漁業移民が大きな話題であった。メキシコで漁業会社で働いた人たちの給料が月八十円を越えたことを知った会瀬の人は続々と海を渡った。友人の中にも、親や身内が渡航していた場合は誘いがあり出かけた者が何人もいた。



昭和八年新たに建設された海岸工場(現在の日立事業所)内のタービン工場に移った。当時は本館はなく今の助川中学校あたりから常磐線までは水田が広がり、上台(現在小平記念館が在る高台)は一面畑地だった。工場までは家から近く、通勤は楽になった。生活が落ち着いてきたので、昭和十一年おなじ会瀬青年会に所属する女性と結婚した。

関盛夫さんは昭和四二年まで四十年間日立工場に勤務して機械加工の権威として活躍し、昭和三八年に卓越した技能と経験を持ち他の模範となる社員に与えられる特別な称号である工師に任用された。現在は悠々自適の日々を送っており、過日の三世代敬老の集いにも元気な姿を見せてくれた。



コミュニティ推進会
事務局長 須田 育慎

会瀬学区コミュニティ推進会の事務局長を務めさせて頂くことになりました。交流センターの事務局長として微力ながら活動してまいりましたが、今年度よりコミュニティ推進会の事務局長も兼ねることになりました。情報の収集・発信を円滑に行い地域のみなさまやコミュニティ専門部活動の支えとなるよう努めていきたいと思っております。

また、各種団体、組織関係者とも連携し地域の交流を活性化していきたいと思っております。今後とも皆様のご協力ご支援をよろしくお願いたします。



会瀬1丁目
地区長 助川 勇

この度、会瀬一丁目地区長を務めさせていただくことになりました助川です。

地域の中では、避難道路も整備され、防潮堤の整備も初崎迄進んでいる現状です。環境的には防災対策が整備されつつありますが、高齢化及び少子化に対して色々な問題が出ている現状ではないかと思っております。地域の皆様方の「安全・安心」な生活を送れるよう微力ながら尽力して致していきたいと思っておりますのでご支援、ご協力をお願い致します。